

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	ドイツ連邦共和国
滞在都市 (☆)	フランクフルト (am Main)
留学先大学等名 (☆)	ゲーテ大学フランクフルトアムメイン
留学先での所属学部/研究科 (☆)	経済・経営学部
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2018年 9月 17日
渡航先からの出国日 (☆)	2019年 8月 14日 (予定)
渡航先国での滞在期間 (☆)	11か月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称	Leadership in the financial industry
履修期間	10月～2月
授業時間 (○分×△回)	90分×8回 180分×7回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	5
履修科目名称	Strategic innovation management
履修期間	10月～2月
授業時間 (○分×△回)	180分×15回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	5
履修科目名称	Pricing
履修期間	10月～2月
授業時間 (○分×△回)	180分×15回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	5
履修科目名称	Decision Making in Markets and Organizations
履修期間	4月～7月
授業時間 (○分×△回)	90分×22回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	5

大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

履修科目名称	International Finance
履修期間	4月～7月
授業時間（○分×△回）	90分×22回
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	5
履修科目名称	Economics of labor market institution
履修期間	4月～7月
授業時間（○分×△回）	90分×22回
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	5
履修科目名称	
履修期間	
授業時間（○分×△回）	
授業形態（講義・セミナー）	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間（○分×△回）	
授業形態（講義・セミナー）	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間（○分×△回）	
授業形態（講義・セミナー）	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間（○分×△回）	
授業形態（講義・セミナー）	
取得単位数	
留学生（日本人）の割合	5～10%
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	試験 100%
履修科目の制限等（あれば）	1セメスターに30単位まで

大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業 科目の充実度等について	英語での授業科目は、経済学系、ファイナンシャル系の科目 が多く、経営学・マーケティング系の科目は少ない。 経営系の授業はマスターがほとんど。 経済学部の交換留学生はドイツ語を話せない人が多いため、 日常会話は英語。ドイツ語を使うのは現地学生がほとんど。
語学に関するサポート(特別授業、 チューター、Eッペライティングに関するサ ポート等)	ドイツ語の語学コースがあるが、最低条件はB1
授業内での留学生に対するサ ポート等	テストに紙辞書の持ち込みが可能
その他	

2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生 協・購買・食堂)について	学食、カフェがある。
図書館について	学部ごとに分かれている。コピー機が有料で使える。
保健センター等の有無	
クラブ・サークル等について	体育の授業はサークルのような雰囲気。 Erasmus のサークルに参加できる。
留学生へのサポート	Buddy Program に参加すると、学期ごとにバディをつけても らえる。 Buddy Program が主催するイベントがある。
オリエンテーション等学校主 催の行事について	学期初めに学部ごとのオリエンテーションがある。 One day trip が不定期で行われる。
現地の学生との交流について	学期初めのオリエンテーション後に交流会がある。
他の留学生との交流について	Buddy Program に参加している学生と交流ができる。
学外での活動について(地域コ ミュニティー活動等)	FC Basara Mainz という隣町 Mainz のサッカークラブでボラ ンティアをしている。 ラーメン屋でアルバイトをしている。
長期休暇中の過ごし方	海外旅行、国内旅行、ボランティア
その他	

3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類(☆)	学生ビザ
----------	------

ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等) (☆)	<p>外国人局に申請しに行った当日にビザを発行してもらえる。所要時間は2時間ほど。</p> <p>渡航前：特にやることはない。(強いて言えば、念のために残高証明書を発行してもらうこと、念のために無犯罪証明書を発行してもらうこと)</p> <p>渡航後：住民登録→ドイツの銀行口座開設・残高証明書の発行→外国人局で申請</p> <p>※フランクフルトは移民が多いため、外国人局はかなり並ぶ。(朝8時半オープンなら4時頃から、昼13時オープンなら7時半頃から並ぶ)</p> <p>3カ月以内の予約を取ることはまず不可能だと考えたほうがいい。3カ月後以降の予約を入れた場合、予約日までは仮ビザが発行されるがドイツ国外に出国できない。</p>
利用航空会社	日本航空
入国の際の現地空港名	フランクフルト国際空港
空港から滞在先への移動について(交通手段や所要時間)	S Bahn+U Bahn (地上電車+地下鉄) 40分ほど。
入国審査について(提示した書類、審査官からの質問等)	<p>入学許可証・パスポート 審査官からの質問は特になし。</p> <p>(私は海外に行くのが初めてだったため、「海外初めてなの?」と聞かれたが、他の入国者は特に話をしている様子はなかった。)</p>
渡航後の手続き(在留届の提出、外国人登録等)	<p>オンラインで在留届を提出 現地で住民登録、ビザ申請</p>
その他	

4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	<input checked="" type="checkbox"/> 無
奨学金名	トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム
奨学金月額受給額(円)	60,000円
入国時に用意した金額	720€ × 滞在月数 = 約 8,000€ (約 100万円)
クレジットカードについて(カード会社名・日常の利便性)	VISA クレジット、VISA デビット 日常生活ではドイツの銀行のデビットカードを使用。 (Maestro)
留学中に利用した銀行名	Frankfurter Sparkasse

現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	Frankfurter Sparkasse で開設。 パスポート、住民票、入学許可証を持参。 店舗によっては予約が必要だが、1 週間以上先になるので、予約が要らない店舗を聞くと良い。
デビットカードの使用について	有
日本からの送金方法について	一括送金（ビザ取得に 720€ × 滞在月数が必要なため）
1 ヶ月の生活費（目安）	550€（家賃込）
その他	

5. 暮らしに関する情報

5. 1 住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・アパート等）	一人部屋学生寮
家賃	349€
住居を探した方法・時期	大学の紹介。渡航前に郵送で申請した。9 月入居の申請の締切は 6 月 1 日必着。
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等）	ハンドキャリー（スーツケース 2 つ）
その他	

5. 2 食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊
1 ヶ月の食費	150~200€
その他	

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	プリペイド SIM を使用
インターネットについて（Wi-Fi 環境等）	部屋では無線 LAN を購入。 街には Telekom の Free Wifi が使えるところもある。(Telekom ユーザーのみ) 電車やショッピングモールには Free Wifi がある。
コンピュータについて	日本から持参
郵便について	日本でいう EMS はドイツでは DHL Express という。値段は 4 倍強。 普通郵便は使ったことがありません。

大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

交通機関について	<p>ヘッセン州内の S Bahn、U Bahn、Strassen Bahn、バスは学生証提示で無料で乗れる。(各セメスターに Contribution Fee という名前で 316€ を前払い)</p> <p>場所によっては終電と言う概念なく、バスは深夜も走っている。</p> <p>治安も良く、電車やバスの中で寝ても危なくない。(もちろん寝ないに越したことはないが。)</p>
治安について	<p>良い。Frankfurt Hbf はやや治安が悪いが、夜に出歩かなければ問題ない。</p> <p>大学近辺は深夜に出歩いても大丈夫。</p>
保険について	東京海上日動の海外旅行保険と Care Concept というドイツの保険に二重加入
医療機関・薬について	<p>Hausen という地区に日本人の医者がある。</p> <p>薬は病院で処方してもらったものを Apotheke (薬局) で購入する。</p>
気候と服装について	<p>11 月頃からかなり寒くなり、冬は 0℃前後。ダウンは必須。</p> <p>4 月中旬頃から急に暖かくなり、25℃の日もしばしば。</p> <p>5 月頃にはまた寒くなり、最高気温が 15℃くらいの日が続いた。</p>
普段の買い物について	<p>REWE というスーパーが阪急オアシスのようで使いやすい。</p> <p>朝 7 時～夜 24 時まで空いている店舗もあり便利。</p> <p>アジア料理の調味料は、アジアマーケットやデパートで買える。醤油はスーパーにも置いてある。</p>
娯楽・行事について	<p>11 月末～12 月後半まではクリスマスマーケットで街がにぎわう。</p> <p>現地の人々の娯楽は、ビールとおしゃべり、コーヒーとおしゃべり、という感じ。サッカー観戦はスタジアムでもバーでも盛ん。</p>
日本語の使用について	フランクフルトは日本人が多いため、日本語を話す機会も多い。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	4 月頃～8 月頃まで様々な種類の花粉が飛び続けるので、花粉症の人は飲みなれた薬と花が痛くならない柔らかいティッシュがあるとよい。ドイツのティッシュは質が悪い。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	B1 までは自力で勉強しなければいけなかった。日本で勉強してこないと、ドイツで授業を受けられない。
その他	

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について(セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等)	夏休みにインターンシップに参加した。 自己分析、業界研究はほとんどしていない。
留学中の就職活動について (海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターンシップ等)	ロンドンキャリアフォーラムに参加 駐在員にOBOG訪問

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	IELTSの面接対策を友達とした。
留学中の学習方法、工夫したこと等	タンデムパートナーと定期的に会い、外国語を使う機会(特にドイツ語)を無理やりつくる。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか(主観的な実感や具体的なスコア等)	外国語に自信がなく、初めは外国人と会うのが嫌だったが、半年たったあたりからなんとか会話を楽しめるようになった。

8. その他

留学して得られたこと	「勉強を頑張ろう」と思えたこと。(海外の学生の意識の高さと頭の良さに驚いた。)
留学中に困ったこと	銀行の書類、公共放送料金の書類等、書類がことごとくドイツ語で理解できないこと。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	女性のためのドイツ留学サポートセンター https://doitsu-ryugaku.jp/side/contact/ 保険の加入時に、お世話になった。

9. 留学体験談・エッセイ(様式任意)

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1~2ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚(本人も映っているもの)も合わせて提出してください(国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります)。

【留学を決めた理由】

大学1、2年生の頃は、バイトかサッカーか遊ぶことしかしておらず、このままだと何もしないまま大学生活を終えることになってしまったと思ったため、留学を決めました。

私はもともと海外志向が全くなく、英語もドイツ語も全く話せない人でした。

ですが、自分の中の何かを変えたいと考えたときに、真っ先に思いついたのが留学だったので、勢いそのままに選考に応募しました。

【外国語に自信がある人にも、ない人にもオススメなフランクフルト】

私は阪大生の中でもトップレベルに英語ができない人だという自負(?)があります。初めての海外がこの留学であり、外国人とまともに話したのもこの留学が初めてでした。留学初めの頃は、留学生のパーティーや飲み会などに行ったりもしましたが、英語がわからず会話についていけず、たまに喋ってみても言葉が出てこない、理解してもらえないことの連続でした。その結果、外国人が集まるコミュニティーに参加するのが嫌になり、なかなか外国人の友達を作れずにいました。

しかし幸運なことに、フランクフルトは日本人が多い街ということもあり、日本人慣れしている外国人も一定数います。

私は日本食店のアルバイトを通して、そういった人たちに出会い、私のペースに付き合ってくれてくれる友達に恵まれたため、少しずつ英語の会話に慣れていくことができました。

もちろん外国語に自信がある人にとっても、フランクフルトは留学するのに良い街だと思います。ヨーロッパ屈指の金融都市であるフランクフルトに集まる学生は、現地学生・留学生問わず優秀な人が多いです。

また、ゲストレクチャーの授業が多く、金融界で大活躍されている方のお話を毎週のように聞くことができます。ゲストティーチャーに様々な質問をして経済学への知識をさらに伸ばすこともできると思います。

【ヨーロッパを最大限に楽しめる街フランクフルト】

フランクフルトの良いところは「外国が近い」というところです。

フランクフルト空港はヨーロッパ最大のハブ空港の一つで、ヨーロッパだけでなく、トルコ、モロッコ、西アジア諸国へのフライトもたくさんあります。

格安航空もあらゆる国・街へ飛んでいるので、想像以上に安く旅行することができました。

また、格安の長距離バスもたくさん運行しているので、陸路でも簡単に海外に行くことができます。

色々な国を訪ね、その国の文化や雰囲気に触れることができたのは良い経験になりました。